

2022年4月21日

福島県医療福祉機器産業協議会事務局

第 1 回 総 会 議 事 録

会議名	福島県医療福祉機器産業協議会 第1回総会		
日 時	2022年4月21日(木) 10:00~10:45	場 所	ふくしま医療機器開発支援センター (WEB会議システム Zoom 併用)にて 実施
参加者	44会員57名及び事務局6名(委任状提出29会員)		

議事	議事1:2021年度福島県医療福祉機器産業協議会の活動・収支報告 議事2:2021年度福島県医療福祉機器産業協議会 事業計画及び予算について 議事3:分科会活動紹介 議事4:その他ご連絡
概要及び承認事項	議事1 2021年度協議会活動実績を報告 議事1 2021年度協議会収支報告(2022年3月時点の実績) 議事2 2022年度協議会活動計画(案)を報告

発言要旨		
議事	発言者	発言内容
	林会長	昨年度はコロナウイルス感染拡大の影響もあり、思うような活動ができなかった。 3月に会員の皆様へアンケートを実施させていただいた。今年度は会の目的と会員様の意見をベースに積極的に活動行いたい。 本日は福島県医療福祉機器産業協議会 規約 第2条に則り進めていきます。
1	事務局三浦	議事の前に今年度から新たな幹事となった福島県医療関連産業集積推進室 佐々木室長の紹介、新たな事務局担当の庭瀬の紹介を行った。
	事務局三浦	第1号議案 2021年度の活動報告・収支報告を行った。 (収入:3,744,942円 支出:1,191,860円 繰越金:2,553,082円)
	泉田監事	4月14日会計監査の結果、上記収支決算について適正に処理されていることを報告。
	林会長	全員異議なしという事で、議案第1号は承認といたします。
2	事務局石橋	第2号議案 2022年度事業計画及び予算を提案。 “交流・研修・広報”を会員の皆様と一緒に活動していく。 ・メディカルクリエーションふくしまへの参加 ・社長塾(担当者向け勉強会) ・ブランド化に向けたホームページのリニューアル ・メディクリ連携企画 創生アイデアコンテスト/学生対象ハンズオンツアー ・医産連携ピッチ

		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックの更新 ・他地域（諏訪工業メッセ等）への出展 ・薬機法関連セミナー ・パネル等広報ツールの作成、ロゴマークの作成 ・医療機器メーカーとのマッチング企画 ・医療機器ニーズの発掘方法を学ぶワークショップ ・各種学会への参加 ・センター事業連携企画 医療の仕事体験デー（高校生）への参加 ・センター事業連携企画 医療機器わくわく体験デー（小中学生）への参加 <p>年間スケジュールの提案も行った。</p>
	事務局三浦	<p>議案第2号 2021年度事業計画予算について、 収入合計 4,273,082円。 支出内訳 事業計画にあったガイド・パネルの作成、昨年度出来なかった会員サイトの改修を想定している。また、センターでの学会開催時のブース設置を想定している。</p>
	林会長	全員異議なしという事で、議案第2号は承認いたします。
3	林会長	次に、各分科会の活動についての報告をいたします。
	事務局三浦	整形インプラント製品国産化研究分科会は代表者が欠席。
	在宅医療・ 介護機器事 業化分科会 (ふくしま ストーリ ー)	<p>タカラ印刷 伊東様 2019年度から自己検査用尿糖計の開発、尿蛋白計の開発を手掛けている。 昨年度改良した点が4つある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尿蛋白測定機能の追加 ・数値からマーク表示に変更 ・小型化 ・LEDを増やし光量アップ <p>今年度は、上市を目指す。そのためのユーザビリティ評価について各自自治体、協議会会員様にご協力をいただきたい。またセンターでの報告会を行いたい。</p>
	設計開発分 科会「結の 会」	<p>株式会社タカナワ 木下様 例年毎月会議を開催しているが、昨年度はコロナの影響で7回の開催となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業の取得した特許の公開、使用の希望を募る ・開発した商品の技術を分科会で紹介、幅広く販売できるよう共有した ・装置、部品加工において、素材の入手や価格変動等情報共有した <p>昨年度の分科会の中で発生した案件の売り上げは312万円、分科会会員様同士の紹介による受注案件売り上げは3万7000円であり、今年度は2000万円ほどの受注案件になりそうだということである。</p> <p>それぞれの企業が案件を分科会に持ち込んで共有することを引き続き行っていく。</p>
	医療手技ト レーニング モデル開発	<p>株式会社朝日ラバー 渡邊様 県内企業から手技トレーニング装置の開発について2~3件相談があった。 そのうち、11月に内視鏡トレーニング装置に関わる開発をしたいとのことで、ア</p>

	分科会	ルファ電子様、ケイエスエム様を紹介した。 今年もしくは来年頭頃を目指し、設計仕様を現在進めている状況。 引き続きサポートしていきたい。
4	小林幹事	福島県発明協会は“ふくしまメディカルファンド計画”を計画している。 支援内容や募集対象を説明、支援を受けたい企業を募集している。 今後、事務局より詳細の発信を行う。
	事務局三浦	メディクリ出展募集等の資料を配布。Webにて参加の皆様には別途送付いたします。